

3 環境調査の項目

3-1 項目の選定

平取ダム建設事業における環境調査の項目は、「ダム事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（以下「主務省令」という。）に準じて選定し、「平取ダム環境調査計画」（平成15年8月 北海道開発局室蘭開発建設部）（以下「環境調査計画」という。）として策定した。

環境調査計画においては、主務省令に示されている標準項目のうち、対象事業実施区域周辺に保全対象が存在しないことから、大気環境（大気質、騒音、振動）、土壌に係る環境その他の環境（地形及び地質）、景観及び人と自然との触れ合いの活動の場については選定しなかった。

しかし、表3-1に示すとおり、平取ダム環境調査検討委員会（以下「検討委員会」という。）における議論を踏まえ、「主要及び身近な眺望点及び景観資源並びに主要及び身近な眺望景観」及び「地域と関わりがあり多くの人が訪れる場」を、調査、予測及び評価の項目として選定した。

環境調査計画と検討委員会報告書（案）の項目の対比は、表3-2に示すとおりである。

表3-1 選定に関する経緯

追加した環境調査の項目	選定に関する経緯
主要及び身近な眺望点及び景観資源並びに主要及び身近な眺望景観	<p>環境調査計画においては、事業実施区域及びその周辺に、主要な眺望点となる不特定多数の人が利用するような展望台が分布していないこと、「第3回自然環境保全基礎調査（環境庁）」において選定された自然景観資源が分布していないことから、景観を環境調査の項目として選定していない。</p> <p>しかし、『地域の景観特性の歴史文化・社会性等に着目し、広い区域からの視点場を定点として選定し、ダム方向の眺望等、四季の景観を見た方がよい』という検討委員会における議論を踏まえ、主要及び身近な眺望点及び景観資源並びに主要及び身近な眺望景観として、調査、予測及び評価の項目として選定した。</p>
地域と関わりがあり多くの人が訪れる場	<p>環境調査計画においては、事業実施区域及びその周辺に「スズラン群生地」が位置しているが、一時的イベントの場として利用されていることから、人と自然との触れ合いの活動の場を環境調査の項目として選定していない。</p> <p>しかし、『平取和牛の放牧風景がみられる牧野に隣接した、日本一の広さを誇るスズラン群生地は、地域との関わりが不可欠である』という検討委員会における議論を踏まえ、地域と関わりがあり多くの人が訪れる場として、調査、予測及び評価の項目として選定した。</p>

表 3-2 調査、予測及び評価の項目（環境調査計画と環境調査検討委員会報告書（案）の対比）

環境要素の区分	環境調査計画（平成 15 年度）			報告書（案）（平成 18 年度）									
	環境要因の区分	工事の実施			工事の実施								
		ダム の 堤 体 の 工 事	原 石 の 採 取 の 工 事	施 工 設 備 及 び 工 事 用 具 の 工 事	道 路 の 付 替 の 工 事	道 路 の 付 替 の 工 事	施 工 設 備 及 び 工 事 用 具 の 工 事	原 石 の 採 取 の 工 事	ダム の 堤 体 の 工 事	ダム の 供 用 及 び 共 用 道 路 の 存 在	原 石 山 の 跡 地 の 存 在	土 地 又 は 工 作 物 の 存 在 及 び 共 用	
環境要素の区分	環境要因の区分	大気環境	粉じん等	△			△						
			騒音	△			△						
			振動	△			△						
水環境	水質	土砂による水の濁り	○			○		○				○	
		水温											○
		富栄養化											○
土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	溶存酸素量											○
		水素イオン濃度	○						○				
		重要な地形及び地質										△	
動物	重要な種及び注目すべき生息地	重要な種及び注目すべき生息地											○
		重要な種及び群落											○
		地域を特徴づける生態系											○
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観											△
		主要及び身近な眺望点及び景観資源並びに身近な眺望景観											●
		人と自然との触れ合いの活動の場										△	
環境への負荷の環境要素	人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査されるべき環境要素	人と自然との触れ合いの活動の場											△
		地域と関わりがあり多くの人が訪れる場											●
		廃棄物等											△

注) 1. ○は、主務省令に基づき選定した項目を示す。
 2. ●は、平取ダム環境調査検討委員会における検討結果を踏まえ、新たに設定した項目を示す。
 3. △は、平取ダムの特性を踏まえ、選定しなかった項目を示す。
 原石の採取の工事：平取ダムでは、骨材採取については計画が未定であるため予測に見込まないこととした。

3-2 項目の選定理由

現在の調査、予測及び評価の項目に対する選定理由は、表 3-3 に示すとおりである。

表 3-3 調査、予測及び評価の項目の選定理由

項目		選定する理由	
環境要素の区分		影響要因の区分	
水環境	水質	土砂による水の濁り	工事の実施、ダム の 供用 及 び 貯水池 の 存在 等 に よ り、濁水 の 発生、濁水 の 滞留 が 考 え ら れ る。
		水温	ダム の 供用 及 び 貯水池 の 存在 に よ り、水温 の 変化 が 考 え ら れ る。
		富栄養化	ダム の 供用 及 び 貯水池 の 存在 に よ り、富栄養化 が 考 え ら れ る。
		溶存酸素量	ダム の 供用 及 び 貯水池 の 存在 に よ り、溶存酸素 の 変化 が 考 え ら れ る。
		水素イオン濃度	工事 の 実施 に よ り、水素イオン濃度 の 変化 が 考 え ら れ る。
動物	重要な種及び注目すべき生息地	対象事業実施区域及びその周囲には、動物の重要な種が生息している。	
植物	重要な種及び群落	対象事業実施区域及びその周囲には、植物の重要な種が生育している。	
生態系	地域を特徴づける生態系	対象事業実施区域及びその周囲には、地域を特徴づける動植物の生息・生育地が存在する。	
景観	主要及び身近な眺望点及び景観資源並びに主要及び身近な眺望景観	対象事業実施区域及びその周囲には、主要及び身近な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観が存在する。	
地域と関わりがあり多くの人が訪れる場	地域と関わりがあり多くの人が訪れる場	対象事業実施区域及びその周囲には、地域と関わりがあり多くの人が訪れる場が存在する。	